

郡山市総合戦略 評価・検証の実施について

1. 評価の概要

本市では「人口減少・地域経済縮小克服」及び「復興力の維持・強化」の実現を目指し、平成27年度に「郡山市総合戦略」を策定しました。また、令和5年度には、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す国の総合戦略に沿った「デジタル田園都市郡山総合戦略」へと改訂を行い、計画期間を1年間延長し、2020～2025年としました。

この「デジタル田園都市郡山総合戦略」における各施策について、PDCAサイクルによる検証を行い、事業見直し等の改善につなげていくため、このたび、2023(令和5)年度の実績について評価を行います。

2. 評価の手法

KPIの現状値及び傾向の把握、総合的な取組についての定性評価を実施。

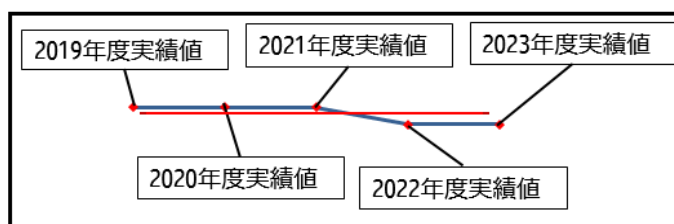
◇KPIの傾向について

KPIについては、2025(令和7)年度の目標値達成に向けて、策定前である2019(令和元)年度の値と比較し、2023(令和5)年度の実績値がどのような傾向(進捗)にあるかを総合的に判断しました。

2023(令和5)年度の評価	
↗	目標値に対して、上回っているもの
→	目標値に対して、概ね計画通りであるもの
↘	目標値達成に対して、遅延しているもの

◇2019年度からの実績変動について

2019年度～2022年度までの実績値の推移を示した折れ線グラフになります。各項目により最大値最小値が変わっているため、4年間の実績値の増減の確認のため使用しました。赤い線が目標値を示しています。



3. 「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会」の開催

2024年7月22日(月)

「令和6年度 郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会」にて、委員の皆様から、2023(令和5)年度のKPIの現状値に関する意見をいただきます。

※懇談会開催結果(意見要旨及び本市対応)については、随時、本市ウェブサイトにて公表します。

4. 各基本目標に定めるKPIの達成状況（総括）

【基本目標1】

昨今の不安定な国際情勢等による物価高騰や為替相場の変動等により厳しい経済状況下にあるため農業・商業・工業・観光などの連携をさらに深める必要がある。

【基本目標2】

観光客をはじめとする交流人口は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動規制が緩和したことや円安の影響もあり、前年度との比較では増加した一方、目標値の達成が目前にあったコロナ禍前の状況には戻っていないため誘客に向けた集中的な取組が今後も求められる。

【基本目標3】

合計特殊出生率や出生数は、全国的な傾向と同様、本市においても減少傾向にある。

3歳児健診における虫歯有病者率は、2014年度には25.40%だったが、昨年は10.08%となり目標値である10.00%目前となった。

【基本目標4】

セーフコミュニティ国際認証を2023年2月に再取得し、交通事故多発地点マップの作成や事故予防の啓発チラシの作成等に継続的に取り組んだ。

近年の環境や省エネに対する意識の向上等により、温室効果ガス排出量は減少傾向にあるが、目標に向けて更なる取組の強化が必須である。

【基本目標5】

頻発化する気象災害に対し、特に要支援者について、自助・共助の重要性が高まっている。2024年1月に本稼働した避難行動要支援者システムを利用し、今後、計画策定者数はさらに増加する見込みである。

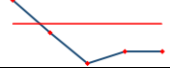
【基本目標6】

ICT機器の活用やICT支援員の学校配置等により教職員のICT活用指導力の向上させ、教育活動の充実を図る必要がある。

参考（全体概況）

基本目標		1	2	3	4	5	6	計	比率
		DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出	地域の魅力発信と「関係人口」の創出	切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進	住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進	あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり	教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり		
基本目標の数値目標 (各基本目標に係るKPI)	↗	0	0	0	1	0	0	1	8%
	→	2	1	0	0	2	0	5	42%
	↘	1	1	2	1	0	1	6	50%
	計	3	2	2	2	2	1	12	
個別施策の数値目標 (各事業のKPI)	↗	10	4	5	6	0	6	31	34%
	→	0	1	3	1	3	1	9	10%
	↘	6	10	9	8	11	7	51	56%
	計	16	15	17	15	14	14	91	

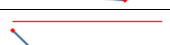
基本目標1：DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出

【各基本目標のKPIの傾向】				SDGsのゴール	＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■「小売業商品販売額」は現時点で目標値を達成しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、昨今の不安定な国際情勢等による物価高騰や為替相場の変動等により減少しており、減少に歯止めをかけるための更なる取組の強化が必要である。 ■「製造品出荷額」については、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、昨今の不安定な国際情勢等による物価高騰や為替相場の変動等により減少傾向にあり、目標の達成に向けた更なる取組の強化が必要である。 ■「新たな企業立地に伴う新規雇用者数」については、積極的な企業誘致を行ったことから増加している。					・郡山市はDXが少しずつ進んでいるので、これからも情報化社会に特化した都市を目指してほしい。 ・テレワーク等によるさらなる働き方改革によって、都心からの移住等を喚起するような取組が必要ではないか。 ・首都圏と比べて、就職先の選択肢が少ないので、企業の誘致をもっと積極的に行う必要がある。 ・経済圏として、農工商各分野及び大学等学術研究機関との連携により具体的な取り組みを推進する必要がある。等		
各基本目標のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
1 小売業商品販売額	商業統計調査及び経済センサスに基づく小売業商品販売数	3,406億円/年 (2012)	4,337億円/年 (2016)	4,249億円/年 (2021)	4,287億円/年	→	
2 製造品出荷額	工業統計調査及び経済センサスに基づく製造品出荷額等	8,411億円/年 (2013)	7,101億円/年 (2018)	6,466億円/年 (2021)	6,807億円/年	↘	
3 新たな企業立地に伴う新規雇用者数	西部第一工業団地等への企業立地に伴う新規雇用者数	-	325人	580人	670人	→	

施策1：「知の結節点」としての優位性を生かした積極的な企業誘致と新たな市場開拓

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
1 創業・起業家数	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年 (2018)	113件/年	77件/年	↗	
2 郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	-	5区画/年	1区画/年	5区画/年	↘	
3 商談会等による商談件数	こおりやま産業博における商談件数	(2020改訂に あたり新設)	80件/年	326件/年	300件/年	↗	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■支援機関（郡山商工会議所や株式会社福島銀行等）との連携のもと、創業塾やセミナーの開催、専門家による相談体制等に加え、スタートアップ支援補助金を新設したことなどにより、創業者支援件数及び創業・起業家数ともに増加を図ることができた。 ■こおりやま産業博は、4年ぶりに制限なしの通常開催としたことにより、事業者の商談機会の増加を図ることができた。 ⇒【課題】物価・エネルギー価格の高騰や人手・人材不足等の厳しい経済状況下においては、継続した事業者支援が必要である。							
【参考】創業支援事業							
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値 変動	
創業者支援件数(件)		742件	1,243件	597件	↗		

施策2：多様な学術研究機関と地元企業が連携した地方発イノベーション

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
1 産学官コーディネート数	研究機関と地元企業等のニーズ・シーズの把握によるマッチング件数	-	23件/年 (2018)	26件/年 (2023)	30件/年	↘	
2 産学官連携による共同研究に参画した企業数	大学や公設研究機関等と連携し共同研究を実施する企業の件数	-	21件/年 (2018)	4件/年 (2023)	25件/年	↘	
3 新エネルギーを導入した公共施設における出力	新エネルギーを導入した公共施設における出力	(2024改訂に あたり新設)	(2024改訂に あたり新設)	22.4kW	15kW	↗	(2024改訂に あたり新設)
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■各公共施設を管理している関係部局と連携して、計画的に再生可能エネルギー発電設備の導入を進めており、2023年度は目標値を上回る出力容量の導入に至っている。 ■研究機関や企業を訪問し、大学等での研究内容や企業の製品開発等に関するニーズ・シーズを収集し、これらの情報をもとに、市内大学と企業との個別面談の仲介や研究機関と連携した市内企業による医療機器開発の支援など、研究機関と企業との個別マッチングを進めた。 ⇒【課題】再生可能エネルギー分野や医療福祉分野を中心とした新たな産業の創出、関連産業の集積及び育成を図るうえで、大学や研究機関、支援機関等と連携した支援体制の構築や連携した企業支援等の体制を整備する必要がある。							
【参考】産業イノベーション事業							
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値 変動	
連携推進事業による共同研究等の数(件)		24	14	13	↗		

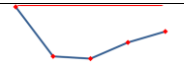
施策3：農林業のICT化と構造改革による成長産業化

個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
1	地域と連携して開発した商品数	農商工親連携により創出された商品数（累計）	1件	9件	17件	12件	↗	
2	ワイン用ブドウ生産量	「ふくしま達瀬ワイナリー」産地形成のためのワイン用ブドウ生産量	(2020改訂に あたり新設)	18t	37t	50t	↘	
3	国内・国外における郡山産米「あさか舞」販売量	郡山産米「あさか舞」の国内外における販売量	1,747t/年	1,760t/年 (2018)	1,741t	2,000t/年	↘	
4	鯉養殖生産量（県南鯉養殖漁業共同組合）	県南鯉養殖漁業協同組合における鯉養殖生産量	550t/年	797t/年 (2018)	655t/年	800t/年	↘	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■国内・国外における郡山産米「あさか舞」販売量について、2020年度以降大幅に減少していたが、主食用米の全国的な減少等に伴い、販売量は回復している。この機を捉え、「J A 福島さくら」等関係機関と連携しながら、「あさか舞」の魅力をPRしながら販路拡大に努めていく必要がある。 ■鯉養殖生産量は、担い手不足や全国的な消費低迷により生産量が減少しているため、県南鯉養殖漁業共同組合等と関係機関と連携しながら、さらなる販路拡大が必要である。			【参考】こおりやま園芸産地づくり支援事業					
			主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
			園芸用施設設置面積	831,000	847,000	850,000	↗	

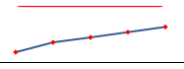
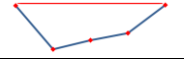
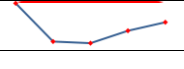
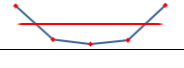
施策4：誰もが安心して働くことができる魅力的な就業環境と担い手の確保

個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
1	新規高等学校卒業者の県内 企業への就職内定率	ハローワーク郡山管内に おける就職希望の新規高 卒者の県内就職内定率	78%	99.6% (2018)	100% (2022)	100%	↗	
2	就労の場確保事業参加者数	就労の場確保事業参加者 数	(2024改訂に あたり新設)	(2024改訂に あたり新設)	579人	500人	↗	(2024改訂にあた り新設)
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率は高い水準を保っている。 ⇒ 【課題】新規高等学校卒業者の就職内定率は県外企業への就職内定率も高い水準を保っており、県内就職希望者を増加させるため、学校関係者と地元企業の連携を強化するとともに、地元企業の情報発信力を強化する必要がある。また、就職後に何らかの理由で離職した方や働くことに不安のある方、進学等で県外へ転出された方、高齢者、障がい者、出産等で退職された女性など、誰もが安心して就職・就業継続できるよう、DXを活用した地元企業情報の発信と就労体験の機会の創出、本人の特性に合わせた就職活動支援を拡充していく必要がある。			【参考】障がい者授産事業					
			主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値 変動
			障がい者授産 製品の売上	10,441	11,484	10,300	↗	

基本目標2：地域の魅力発信と「関係人口」の創出

【各基本目標のKPIの傾向】				SDGsのゴール	＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■ 「社会移動率」は概ね均衡に近い推移状況ではあるものの、減少傾向にあるため、総合的・継続的に各種施策を展開し、本市の都市力を着実に強化することにより、「選ばれる都市」を目指していくことが必要である。 ■ 新型コロナ感染症の影響により減少した交流人口（観光客入込客数）やコンベンション開催件数、外国人宿泊者数が、コロナ禍前の状況に戻っていないため、誘客に向けた集中的な取組が求められる。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや円安の影響もあり、「コンベンション開催件数」「外国人宿泊者数」が増加。引き続き、コンテンツ開発、ツアー造成などのソフト面、受入環境整備等のハード面の両面から観光旅行者を歓迎するまちづくりに努める必要がある。					・郡山市の地方創生の取組をもっと広く、分かりやすくPRするべきである。 ・若者にはデジタル媒体、高齢者には紙媒体というように、受け手の属性に応じた情報発信が必要である。 ・若者の県外流出を緩和・抑制することが重要と考えるため、若者に選ばれる地域の取組について取り組む必要がある。 ・ポストコロナを見据えた事業者支援並びに観光資源等の磨き上げや震災等の様々な災害を想定した対応について、引き続き取り組む必要がある。等		
各基本目標のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1 社会移動率 ※2040年までに子育て世代（0歳から74歳）の社会移動率を段階的に改善	2040年時点で74歳までの社会移動率を段階的に改善	-	-0.00059（2019）	-0.0021	最大約4ポイント改善（2040）	→	
2 交流人口（観光客入込客数）	本市を訪れた観光客の人数 ※2016から17→33に調査地点数変更	約362万人/年	約493万人/年	約347万人/年	500万人/年	↘	

施策1：地域資源ブランド化による海外も含めた観光誘客と情報発信

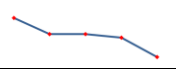
個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1 こおりやまファンクラブ加入者数	こおりやまファンクラブ加入申込者の数	1,214人	1,487人（2018）	1,772人	2,000人	↘	
2 コンベンション開催件数	開催されたコンベンションの件数	850件/年	877件/年（2018）	886件/年	900件/年	→	
3 市公式LINE登録者の数	市公式LINE登録者の数	（2024改訂にあたり新設）	（2024改訂にあたり新設）	17,652人	17,500人	↗	（2024改訂にあたり新設）
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】		【参考】観光誘客事業					
■ こおりやまファンクラブにおいて、協賛店舗による優待サービスの提供、メールマガジンの定期配信、転出者に対する周知、会員による市外での周知活動の依頼（入会時）を実施。新型コロナウイルスによる行動規制解除による首都圏プロモーション機会の回復により、2023年度末の会員数は前年度末と比較して僅かながら増加している。人口減少時代において、地域と多様な関わりを持つ「関係人口」の増加に向けた取組が今後ますます重要となることから、引き続き目標値の達成に向けて取り組む必要がある。 ⇒【課題】こおりやまファンクラブ加入に係る優位性を再検討すること。こおりやまファンクラブが開始されてから約10年が経過しており、関係人口の増加が交流人口（観光客入込客数）・移住定住人口の増加にもつながることから、入会方法や特典コンテンツの見直し等のほか、他自治体の先進事例研究等を含め、ファンクラブ加入に係る優位性の分析と再検討が必要である。 ■ 郡山コンベンションビューローが首都圏エリアを中心に各種学会、団体等に対し会議や展示会の誘致活動を実施したことで、国際会議をはじめとしたコンベンション開催件数が増加した。また、国内旅行者、インバウンド旅行者を誘客するため、コンテンツ開発・ツアー造成・商談・プロモーションの一気通貫した事業を実施した。今後においても、観光立国の実現に向けた国全体の施策や円安等の外部要因を捉え、市の独自資源を活用した受入強化・誘客を推進していく必要がある。		主な成果指標	実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
		観光客数（人）	約493万	約347万人/年	500万	↘	
		【参考】インバウンド観光推進事業					
		主な成果指標	実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
		外国人宿泊者数（人）	13,356	13,486	8,000	↗	

施策2：地域の特色ある歴史、音楽などの文化振興とスポーツ環境の充実

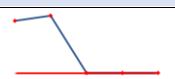
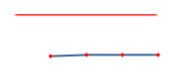
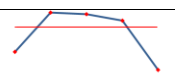
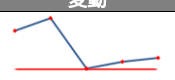
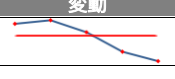
個別施策のKPI		説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	市民音楽祭参加イベント数	市で行われている音楽イベントの件数	207件	205件	174件	245件	↘	
2	「開成館」、「歴史資料館（仮称）郡山市歴史情報・公文書館 2025年開館予定」における入場者数	「開成館」、「歴史資料館（仮称）郡山市歴史情報・公文書館 2025年開館予定」における入場者数	13,765人	14,779人（2018）	3,964人（開成館・歴史資料館）	53,600人	↘	
3	市内プロスポーツ試合観戦来場者数	市内で開催されるプロスポーツ試合観戦来場者数	40,911人	40,710人	36,287人	48,000人	↘	
4	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	市スポーツ施設の年間利用者数/人口	3.4回/年	3.5回/年	2.6回/年	4.0回/年	↘	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】			【参考】郡山シティーマラソン大会開催事業					
■新型コロナウイルス感染症の5類以降に伴い、市民音楽祭参加件数は前年度よりも増加した。課題としては、市民音楽祭を認知し、制度活用をしている団体の固定化と高齢化が挙げられる。市民音楽祭への新規参加団体獲得のために、市主催行事での市民音楽祭の積極的活用やウェブサイトでの市民音楽祭の周知などを引き続き行っていきたい。 ■「開成館」については、福島県沖地震の被害により前年中休館していたが、令和5年10月1日から本館を除いて再開館し、入場者数増加となった。「開成館」の早期の災害復旧を図り、入場者数の増加に繋がる魅力ある日本遺産関連施設の情報発信等が必要である。 ■市SNS、web等広報の拡充、増加及びイベントの充実（観客招待、オリジナルグッズ等配布）、健康運動プログラムやバスケットボールクリニック等による認知力向上により、施設改修に伴う試合数の減少はあったものの観戦来場者数の計画値は上回った。 ■ 磐梯熱海アイスアリーナの冷凍機故障により例年通り冬季営業が実施できなかったことや開成山地区体育施設の改修に伴い大きな大会・イベント等の開催が制限されたため、スポーツ施設利用者が減少した。 ⇒【課題】昨年度に引き続き開成山地区体育施設の改修に伴う休館・休場により、施設の利用が制限されるため、一時的な利用者数の減少が見込まれる。			主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動
			大会参加者数	7,648人	4,043人	7,000人	↘	

施策3：地方への人の流れをつくり、地方を訪れ住み続けるための移住・定住環境の整備と「関係人口」の創出

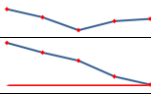
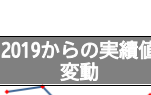
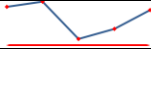
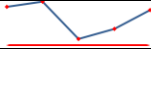
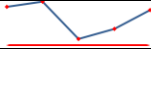
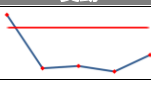
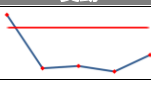
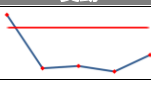
個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1	創業・起業者数【再掲】	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年 (2018)	113件/年	77件/年	↗	
2	農業・農村体験イベント参加者数	農業・農村体験イベント参加者数	252人	398人	533人	600人	↘	
3	農家民宿宿泊者数	農家民宿宿泊者数	158人	70人	16人	100人	↘	
4	市内大学・短大・専門学校の学生数	市内に立地する大学・短大・専門学校の学生・生徒数	10,799人	10,796人 (2018)	10,450人	維持 (2014の10,799人)	↘	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 農業・農村体験イベント参加者数は、「ふれあい体験農園」、「ふるさと田舎体験事業」を実施したが、「まるごと農業体験」を廃止したことや「ふるさと田舎体験事業」で気象状況や講師の体調不良により日帰り田舎体験が実施できなかったため、前年度と比較して参加者数が減少した。 ■ 農家民宿宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、農家民宿の多くが休業したが、一部の農家民宿で宿泊を再開した。 ⇒【課題】農家民宿の宿泊者数が新型コロナウイルス感染症の以前同様に回復できるよう、PRの強化及び後継者の育成が必要となる。 ■ 姉妹都市等国内においては、互いの伝統工芸品である和紙や、地場産品を使用した給食交流を通じた交流人口の増加が図れた。国外においては、東京2020競技大会のレガシーの継承のため、農林部との部局間協奏により、ホストタウンとの食や文化など工夫を凝らした交流を実施することができた。また、ベトナムで開催されたジャパンベトナムフェスティバルにブース出展し、交流人口や関係人口の増加を図る新たな関係を構築することができた。			【参考】ホストタウン・都市間等交流推進事業					
主な成果指標			実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動	
姉妹都市等との交流人口			2,310	33,387	650	↗		

【各基本目標のKPIの傾向】				SDGsのゴール	＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■全国的な人口減少、少子高齢化の影響同様に、本市の「合計特殊出生率」は低下傾向にあり、また、「出生数」についても減少傾向が続いている。「安心して子どもを産み、育てられるまち郡山」の実現を目指し、各種施策を総合的・継続的に展開していくことが必要である。					・郡山市は教育環境、医療機関の充実も含めて子育てのしやすいまちだと感じる。 ・出産・育児で仕事を離れた母親の再就職に対するさらなる支援があるとよい。 ・子育てと仕事が両立できるよう公立保育園の充実が必要である。 ・全国的な少子高齢化のなかで、結婚・子育てしやすいまちに向けて、他の地域との差別化に取り組む必要がある。等		
各基本目標のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1 合計特殊出生率 ※2040年までに合計特殊出生率を段階的に改善	一人の女性が一生に産む子どもの平均数を段階的に改善	1.49	1.47 (2018)	1.25 (2022)	1.63	↓	
2 出生数	一年に生まれる子どもの数	2,694人/年	2,510人/年 (2018)	1,989人/年 (2022)	3,000人/年	↓	

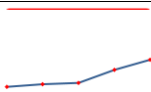
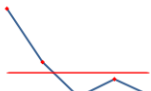
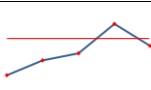
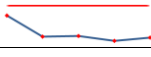
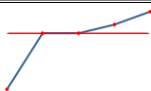
施策1：結婚～妊娠～出産～子育ての切れ目ない支援

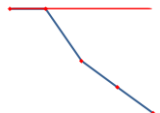
個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	待機児童数(認可保育所等) (4月時点)	入所申請をしたが、保育所に入所できない状態にある児童数	-	20人	0人	0人	↑	
2	「認可保育施設」の満足度	保護者アンケートにより保育施設に「満足」「やや満足」と回答した人の割合	(2020改訂にあたり新設)	-	92.6%	100%	→	
3	市民意見レーダーにおける「子育て」の満足度	市民意見レーダーにおいて「子育て」に対し満足と回答した人の割合	58.4点	72.5点	71.4点	74.0点	↓	
4	ニコサポアプリ登録者数	母子手帳機能を中心としたサービスを提供する郡山市ニコサポアプリの登録者数	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	5,810人	8,000	↓	(2024改訂にあたり新設)
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ これまで、46施設（定員2,556人分）を整備し、2021年度以降2024年度まで毎年4月時点での認可保育所等の国基準待機児童0人は達成したが、年度中に累積する待機児童の解消には至っていない。 ⇒【課題】未就学児の人口は減少傾向にあるが、引き続き、幼稚園の認定こども園への移行、認可外保育施設の認可保育施設への移行を推進し、保育ニーズの高まりに対応する必要がある。 ■ 保護者アンケートにおける満足度の点数は、現在92.6%と高い水準にあるが、引き続き、保育の質の向上や、医療的ケア児童など、保育ニーズの多様化への対応に取り組む必要がある。併せて過去データの分析を通して、利用調整時の優先度点数の適正化も同時に進めている。 ■ ニコサポアプリの登録者数については年々微増状態である。情報発信ツールとして有用であるため、妊娠届等でもアプリ登録の周知を実施する。 ■ 子育て支援センター利用者数については、新型コロナウイルス感染症5類移行を受け、昨年度より増加（回復）したものと考えられる。保育施設は一定の充足をしている状況にあるが、育児に関する相談や情報提供を行う場として継続した子育て支援の場を提供する必要がある。								
【参考】地域子育て支援センター事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)		目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	
子育て支援センター事業利用者数		43,624人 (2018)	33,908人		30,000人	↑		
【参考】妊産婦健康診査事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)		目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	
妊婦健診受診者数		28,349人	22,263人		26,400人	↓		

施策2：子どもたちが健やかに成長できる地域づくり

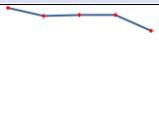
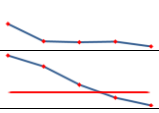
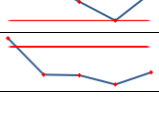
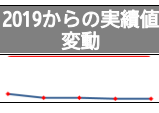
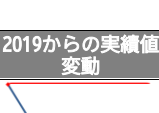
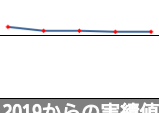
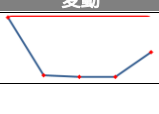
個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動												
1	体力・運動能力調査の全国との比較割合（調査対象：小学校5年生（義務教育学校5年生）、中学校2年生（義務教育学校8年生））	体力・運動能力調査の全国との比較割合（小学校5年生（義務教育学校5年生）、中学校2年生（義務教育学校8年生））	小学校5年生：37.5% 中学校2年生：12.5%	小・義5年生：25.00%(2018) 中2・義8年生：56.25%(2018)	小・義5年生：31.25%(2023) 中2・義8年生：87.50%(2023)	小・義5年生：62.5% 中2・義8年生：62.5%	↘													
							↗													
2	育児家庭訪問実施数	育児家庭訪問実施数	82件	68件(2018)	55件	100件	↘													
3	3歳児健診虫歯有病者率	3歳児健診における虫歯有病者率	25.40%	17.22%(2018)	10.08%	10.00%	→													
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 2023年度の全国体力・運動能力調査の結果は、2022年度の郡山市の平均と比較するとほぼ同等の数値となり、中学2年女子以外は全国並びに県平均値を下回った。 ⇒【課題】体力・運動能力調査の種目別に見ると、小学校では50m走の数値が特に低いので走力の向上、中学校では持久走の数値が特に低いので全身持久力の向上が課題である。意識調査結果によると、「体育の授業が楽しい」と答えている児童生徒が、中学校では男女共に全国平均を上回っているが、小学校では男女共に全国平均を下回っている。楽しい、魅力ある体育の授業をつくり、運動に対する興味・関心をさらに高め、「運動が好き」という児童生徒を増やして体力向上につなげていく必要がある。 ■ 育児に対して大きな不安や問題を抱えている家庭に対し助産師等の専門職による訪問支援を行っているが、1世帯当たりの訪問回数が増加したことにより育児家庭訪問実施数は昨年度に比較し増加している。今後目標値の達成に向け、更なる訪問実施を行う必要がある。 ■ 幼児健康診査、幼児虫歯予防事業、保育所巡回指導等を継続的に実施しており、虫歯保有率については減少傾向で中核市平均よりも低い値になっている。 ■ 子どもの遊び場利用者数についても、新柄コロナウイルス感染症5類移行を受け、昨年度より増加（回復）したものと考えられる。子どもたちの健康増進、運動の運動能力向上をはかるため、継続した遊び場の提供が必要である。																				
【参考】子どもの遊び場 <table><tr><th>主な成果指標</th><th>実績値(2019)</th><th>実績値(2023)</th><th>目標値(2025)</th><th>傾向</th><th>2019からの実績値変動</th></tr><tr><td>子どもの遊び場利用者</td><td>140,649人(2018)</td><td>135,820人</td><td>80,000人</td><td>↗</td><td></td></tr></table>									主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	子どもの遊び場利用者	140,649人(2018)	135,820人	80,000人	↗	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動															
子どもの遊び場利用者	140,649人(2018)	135,820人	80,000人	↗																
【参考】保育所地域ふれあい事業 <table><tr><th>主な成果指標</th><th>実績値(2019)</th><th>実績値(2023)</th><th>目標値(2025)</th><th>傾向</th><th>2019からの実績値変動</th></tr><tr><td>保育所地域活動事業参加者数</td><td>23,742</td><td>12289</td><td>20,000</td><td>↘</td><td></td></tr></table>									主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	保育所地域活動事業参加者数	23,742	12289	20,000	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動															
保育所地域活動事業参加者数	23,742	12289	20,000	↘																

施策3：全ての人が働きやすくなる働き方改革の実現

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	審議会・委員会等の女性委員登用率	地方自治法に基づく行政委員及び委員会等における女性委員の割合	29.7%	28.1%	32.2%	40.0%	↘	
2	ファミリーサポートセンター活動件数	ファミリーサポートセンターへ登録する会員同士の地域における子どもの預かり活動件数	2,829件	3,189件(2018)	1558件	2,000件	↘	
3	育パパサポート奨励金支給人数	民間企業の男性従業員が育児休業を取得した場合に奨励金を支給した人数	-	5人	9人	10人	→	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■女性委員の登用率については、各所属に対して継続的に周知・啓発を行ってきた結果、2019年度以降は、6年連続で上昇しており、一定の進展がみられる。一方で、現状、目標値には達していない状況であり、委員の任期満了を控えている審議会を中心に、関係所属に対して、女性委員の積極的な登用を働き掛けていく必要がある。 ■ファミリーサポートセンター活動件数については、待機児童解消のため民間保育所や一時預かりが増え充実したことに伴い全体的に活動件数が減っている。 ⇒【課題】個々のウェルビーイングに応えるため、預かり手の新規会員確保は今後も課題であることから、引き続きSNSを活用した周知活動の他、各方部地域の方々や市内中学校の保護者に対しチラシの配布するなど事業の周知活動を行っていく。 ■「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」において、男女共同参画や女性活躍に関する講演会の開催や意見交換を実施し、市内の多種多様な機関・団体等と相互連携・意識の醸成を図っており、年々、趣旨に賛同した団体の参加が増加している。								
【参考】一時的保育事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)		目標値(2025)		傾向	2019からの実績値変動
一時保育の利用人数（のべ）		14,579	11,100		16,040		↘	
【参考】保育所地域ふれあい事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)		目標値(2025)		傾向	2019からの実績値変動
こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体		39	57		52		↗	

【各基本目標のKPIの傾向】					SDGsのゴール	＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■ 2017年度にセーフコミュニティ国際認証取得後、交通事故多発地点マップの作成や事故予防の啓発チラシの作成等に取り組む交通安全対策委員会をはじめとする6つの分野別対策委員会（交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）において、継続した活動を行い、2022年度に再認証を取得した。						・高齢者が住みやすいまちとなるよう、公共交通機関のさらなる充実と運賃の低価格化が必要。		
■全国的な人口減少、少子高齢化の影響と同様、「こおりやま広域圏における人口」も減少傾向にある。						・近ごろテレビなどでSDGsについて聞く機会があり、早くからSDGsに取り組んできたのは良いと思う。		
					・脱炭素に向けた省エネ型施設の整備等は「未来への投資」であり、地域経済の活性化と中長期的なエネルギー費用の域内循環を創出するものであり民間事業者も含めた再生可能エネルギー導入促進などに取り組む必要がある。			
					・災害弱者への個別避難計画の策定及び目標値の設定をすべきである。 等			
各基本目標のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	セーフコミュニティ認証取得及び活動の継続	セーフコミュニティ 認証取得に向けた活動	-	認証取得（2017）及び活動の継続	再認証取得及び活動の継続	活動の継続	↗	—
2	こおりやま広域圏における人口（郡山市を含む16市町村）	本市及び近隣15市町村で構成されるこおりやま広域圏人口	約60.8万人（2010国勢調査）（15市町村）	約65万人（2015国勢調査）（16市町村）	約61万人（2023年10月1日推計人口）（17市町村）	61.4万人	↘	

施策1：災害、事故・犯罪のない安全・安心なまちづくり

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	温室効果ガス排出量 ※「郡山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」改定中のため、目標値は暫定値	市内の温室効果ガス排出量	(2020改訂にあたり新設)	2,961千t-CO2 (2016)	2,668千t-CO2 (2020)	1,585千t-CO2 (2030)	↘	
2	リサイクル率（市全体）	市内のリサイクル率	(2020改訂にあたり新設)	16.11% (2018)	9.1% (2019)	25.30%	↘	
3	消防団団員数	市消防団に加入した団員数	2,530人	2,416人	2,053人	2,150人	↘	
4	市内交通事故死亡者数	年間の市内交通事故死亡者数	11人	9人	8人	5人以下	→	
5	犯罪発生件数	年間の刑法犯の認知件数	3,341件	2,118件	1,598人	2,000件	↗	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■近年の環境や省エネに対する意識の向上等により、市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にある。 ⇒【課題】市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にあるが、2021年3月策定「郡山市気候変動対策総合戦略」において、より高い目標を掲げており、今後、更なる対策の強化が必須の状況にある。特に、運輸部門（自動車）における排出量は増加傾向にあることから、次世代自動車の導入推進等、より具体的な施策・対策が必要である。 ■これまで郡山市独自集計によるリサイクル率の数値を採用していたが、今年から環境省が発表する計算方法による数値を採用する。前年度との単純比較はできないが、店頭回収などの普及によりリサイクル率は減少傾向にある。 ■消防団退団者数が入団者数を上回ったことにより、消防団員数は減少傾向にある。 ⇒【課題】消防団員確保に向けて広報活動をより積極的に実施していく必要がある。								
【参考】町内会活動促進事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
町内会加入世帯数		89,514	87,989	101,500	↘			
【参考】自主防災組織活動支援事業								
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
自主防災組織での防災訓練実施回数		42	18	42	↘			

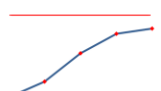
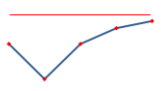
施策2：新たな技術を活用した持続可能な公共・社会基盤の構築

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動	
1	公共施設延床面積縮減率	公共施設延床面積の縮減率	-	0.1%(2018)	1.6%（2022）	4.50%	↘		
2	民間提案を生かしたPPPによる施設の管理運営数（公募による指定管理者制度導入施設）	公募による指定管理者制度導入施設	48施設	62施設	98施設	160施設	↘		
3	コンビニ、スマホ、クレジットカード決済納付割合	市税の納付手段についてキャッシュレス、カウンタレス決済が使用されている割合	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	43.0%	40.0%	↗	(2024改訂にあたり新設) 	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■老朽化した市営住宅の除却や学校の用途廃止等により、公共施設延床面積の縮減を図っているが、歴史情報博物館の整備など新規施設の整備もあることから、「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の複合化・集約化を推進するなど、さらなる総量縮減に向けた取り組みが必要。 ⇒【課題】「郡山市公共施設等総合管理計画」策定から間もなく10年が経過するため、現在の社会情勢を加味した計画の見直しを行う必要がある。 ■市営住宅への指定管理者制度導入により、民間提案を生かしたPPPによる施設の管理運営数は増加した。			【参考】新公会計制度・複式簿記制度導入事業						
			主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動
			財務諸表作成	会計別財務諸表	30会計	26会計	26会計	↗	
				歳出目別（課別）財務諸表	101目	100目	100目	↗	
				事業別財務諸表	87事業	90事業	89事業	↗	
※このほか、2016年度決算より参考として4企業会計についても会計別財務諸表を作成									

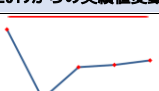
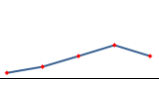
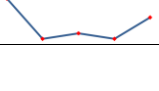
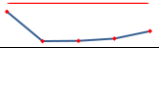
施策3：地域連携により暮らし続けられる都市圏の形成

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	連携中枢都市圏ビジョンにおいて設定する基本目標の向上項目数	連携中枢都市圏ビジョンにおいて設定する基本目標(全11項目)の向上項目数	(2020改訂にあたり新設)	-	3項目	11項目	↓	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■こおりやま広域圏で連携し、地域課題解決に向けて各連携事業に取り組んでいる。 ⇒【課題】広域圏各市町村と各企業・団体等との公民協奏パートナーシップ協定などの取組により圏域全体の経済の活性化、住民サービス向上の一層の深化につなげる。 ■利用者減少等の理由から各地区の路線バスが廃止されることにより失われた地域住民の交通手段を確保するため、2019（令和元）年度から4カ年の計画に基づき、順次乗合タクシーの導入を進めてきた。2022（令和4）年度には、新たに片平・中田地区での運行が始まり、当初計画の10地区での乗合タクシーの導入が完了した。また、利用者アンケートや地区懇談会などを実施して制度の周知改善に努めており、令和5年度も前年度比で利用者数が増加している。			【参考】乗合タクシー運行事業					
主な成果指標			実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	
利用者数			(2020改訂にあたり新設)	10775	10,000	↑		

基本目標5：あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり

【各基本目標のKPIの傾向】				SDGsのゴール		＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■「特定健康診査受診率」については、特定健診未受診者に対する受診勧奨等の取り組みの効果もあり、上昇している。今後も目標の達成に向けて様々な年代向けの特定健康診査の周知啓発を実施し、さらに継続的な受診に繋がるよう受診勧奨を実施していく。						・地域、世代を越えた交流の場があると思う。		
■個別避難計画作成対象である避難行動要支援者は、高齢化等の影響により増加傾向にある。また、頻発化する気象災害に対し、特に要支援者については自助・共助の重要性が高まっている。2024年度以降、計画作成の勧奨地区を拡大する予定であり、計画作成者数は、今後さらに増加することが見込まれる。						・特別支援が必要な子どもの教育環境や障がい者が活躍できる企業などのさらなる充実が必要。		
						・コロナ禍もあり高齢者の生活環境が悪くなっていると感じるため、活躍の場、社会参加の場など高齢者が生きがいの持てる環境づくりをしてほしい。		
						・ウィズコロナ・ポストコロナにおけるテレワークの推進やオンラインによる商談会の開催など企業や市民を取り巻く環境は大きく変化しており、企業の事業継続支援や交流人口の拡大、ビジネスにおける交流の促進、都市部からの移住対策などに遅滞なく取り組む必要がある。等		
各基本目標のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1	元気高齢者数（65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない者の数）	介護保険制度における要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の数	62,947人	68,323人 (2018)	72,245	73,000人	→	
2	特定健康診査の受診率（郡山市国民健康保険被保険者）	市国民健康保険に加入している40歳から75歳未満の方の特定健康診査受診率	32.3%	38.2%(2018)	40.4%	41.00%	→	

施策1：高齢者が健康で活躍し続けられるまちづくり

個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1	高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	延べ65,679回 (2015.4-10)	延べ231,192回 (2018)	延べ134,504回	延べ270,000回	↘	
2	緊急通報システム新規申請件数	緊急通報システムの新規申請件数	(2020改訂にあたり新設)	187件	198件	236件	↘	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■緊急通報システム事業については、緊急通報装置の貸与や定期的な安否確認等により、緊急時の安全確保や在宅生活における不安の払拭等に対応し、高齢者世帯の在宅生活の安全・安心につながる。高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯の増加が見込まれることから引き続き事業を実施していく必要がある。 ■ゲートボール大会は新型コロナウイルス感染防止に留意しながら開催した。高齢者スポーツ大会は新型コロナウイルス感染防止に留意しながら参加人数を制限するなどして開催した。屋内でのスポーツ大会は4年ぶりの開催であり、高齢者の外出数増加に繋がった。 ⇒【課題】感染症防止に留意しながら、高齢者スポーツ大会の競技種目等、内容を見直すなど、目標値に向けた更なる外出の機会の提供が必要である。								
【参考】高齢者の生きがいと健康づくり事業								
主な成果指標		実績値 (2019)	実績値 (2023)		目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動	
スポーツ大会参加者数		822人	459人		800人	↘		
【参考】いきいきデイクラブ事業								
主な成果指標		実績値 (2019)	実績値 (2023)		目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動	
延べ利用者数		6,054人	3,665人		7,085人	↘		

施策2：住民や多様な主体が支え合える優しい地域づくり

個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1	認知症サポーター養成者数 (累計)	認知症サポーター養成講座の受講者数	8,422人	32,634人	38,881人	55,000人	↘	
2	郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	57団体(2015)	111団体	124団体	140団体	↘	
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 認知症サポーター養成事業については、前年度と比較すると、開催数及び養成者数が増加している。また、認知症高齢者SOS見守りネットワークにおいては、認知症の理解促進により、加盟団体が微増し、行方不明発生時等見守り体制の協力が得られている。 ⇒【課題】働き世代を中心とした認知症の周知啓発を図るため、認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体を中心に認知症サポーター養成講座の開催を促していく必要がある。また、認知症高齢者等の見守りを強化するため、民間企業等の加盟を促し、かつ加盟団体との連携強化に努める必要がある。			【参考】障がい者の社会参加及び障がい者理解促進事業					
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
障がい者スポーツ教室参加人数		303	261	300	→			
			【参考】一般介護予防事業					
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
住民主体の通いの場活動箇所数		115箇所	137か所	170箇所	↘			

施策3：あらゆる住民・世帯が安心して健康に暮らせる社会の構築

個別施策のKPI		説 明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1	「空気のきれいな施設」認証施設数	市内において禁煙に取り組む施設の数	(2020改訂にあたり新設)	825施設	900施設	940施設	↘	
2	食育に関する市民の認知度	食育について理解している成人の数	95%	75.8%	97.0%	100%	→	
3	医療相談件数	医療相談窓口に寄せられた相談、苦情の件数	347件/年	442件/年 (2018)	397件/年	250件/年	↘	
3	個別避難計画の作成者数	個別避難計画を作成した者の数	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	12人	277人	↘	(2024改訂にあたり新設)

【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】

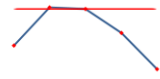
■ 「空気のきれいな施設」について、ウェブページやチラシ等で周知を図ることにより、認証施設数が増加した。

■ 2023（令和5）年度から第四次郡山市食育推進計画が開始され、あらゆる機会を通して計画市民版の周知や配布を行った。離乳食教室や幼児栄養相談事業の実施、小学校1年生とその保護者を対象とした食育チラシの配布、働き盛りに対する食生活の講話の実施など、幅広い世代に食育を実施できたことにより、食育に関する市民の認知度は向上している。

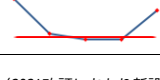
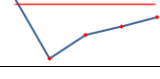
■ 2024年1月に本稼働した避難行動要支援者システム等を利用し、2023年度は「令和元年東日本台風」の被害が大きかった地区（水門町等）内の避難行動要支援者へ計画作成の勧奨を行い、提出のあった者について登録が完了した。2024年度においても、それらの地区ごとに順次勧奨し登録する予定だが、市全体の避難行動要支援者名簿登録者数が約16,000人と膨大であることから、事務の進め方について、業務委託を含めて検討する必要がある。

【参考】救急医療体制確保事業					
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動
休日・夜間救急センター受診者数	13,473人	12,641人	13,000人	→	

【参考】障がい者相談支援事業					
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動
障がい者相談件数	23,138件	37,463件	21,000件	↘	

各基本目標のKPIの傾向				SDGsのゴール	＜まちづくりネットモニター等での主な意見＞		
■公民館利用については、新型コロナウイルス感染症の流行により公民館利用者数は減少していたが、昨年度(2022)に対し今年度(2023)の利用者は増加傾向にある。しかしながら、利用者の固定化・高齢化は引き続き課題となっているため、子どもの居場所や事業の充実を推進し、利用者層拡充を図っていく。					・学力向上にさらに力を入れることで、地元での進学、就職が増加すると思う。 ・教育の多様性、内容を充実させることで、若い人が子どもの教育に魅力を感じるまちにしてほしい。 ・公民館で開催している社会教育、生涯学習に関する講座等をオンライン化してはどうか。 ・学校教育において、生徒や教員自身のICT活用能力の向上を図る取り組みを推進する必要がある。 ・図書館の利用状況等についてもコンテンツの充実や学びの環境充実を示すような項目を指標化してはどうか。等		
各基本目標のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1 市民意見リーダーにおける「生涯学習」の満足度	市民意見リーダーにおいて「生涯学習」に対し満足と回答した人の割合	64.2点	70.6点	68.7点	72.0点	↘	

施策 1：AI等も活用した先進的な教育による質の向上

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2023)	目標値 (2025)	傾向	2019からの実績値変動
1 教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	小中学校における教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	7.6人/台	3.4人/台	1.0人/台	1人/台	↑	
2 教職員1人当たりの研修講座参加回数	教職員の研修講座参加者数	(2020改訂にあたり新設)	3.8回	3.4回	2.5回	↑	
3 ICT機器を活用して授業ができる教職員の割合	ICT機器を活用して授業ができる教職員の割合	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	92%	93%	→	(2024改訂にあたり新設)
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■GIGAスクール構想の実現に向けた計画的な1人1台端末の整備により、令和2年度には児童生徒1人1台端末の整備が完了している。 ⇒【課題】整備完了した端末を活用した教育活動の充実へ向けて今後も教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、国の目指すNEXT GIGA（端末の更新）へ向けた準備を進めていく必要がある。 ■集合・対面による研修とオンラインによる研修を効果的に使い分けながら、教職員が参加しやすく、満足度の高い研修講座を企画・実施することができた。 ⇒【課題】教職員の資質向上へ向けて、ニーズに応じた研修機会の充実を図っていく必要がある。							
【参考】心のハーモニー学校音楽振興事業							
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
合唱・合奏交流事業等参加者数	2,287人	1,534	2,000人	↘			

施策2：世界的視野で活躍できるグローバルな人材の育成

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動
1	民俗芸能記録保存団体数	地域で伝承されている無形文化財の上演状況等を映像記録保存した数	6団体	8団体(2018)	9団体	11団体	↘	
2	ICT支援員の配置学校数	ICT支援員の配置学校数	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	76校	45校	↗	(2024改訂にあたり新設)
3	プログラミング授業の児童生徒による満足度	プログラミング授業の児童生徒による満足度	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	90%	85%	↗	(2024改訂にあたり新設)
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■指定無形民俗文化財の継承の一助とするため、計画的に映像記録を作成している。 ■すべての郡山市立学校にICT支援員を配置し、環境整備や教職員の授業の支援を図ることにより、ICTを活用した教育活動の充実につなげることができた。 ⇒【課題】より教育活動の充実を図る上でも、各学校へのICT支援員の配置回数の拡充を図っていく必要がある。			【参考】小中学校英語教育推進事業					
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動		
中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率		46.10%	42.90%	50%	↘			

施策3：誰もが学ぶことができる学習機会の確保・充実

個別施策のKPI		説 明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2023）	目標値（2025）	傾向	2019からの実績値変動												
1	公民館利用者数	市内公民館の利用者数	約111万人	約123万人 (2018)	約74万人	123.5万人 (2023)	↘													
2	あさかの学園大学学生数	高齢者大学「あさかの学園大学」学生数	466人	492人	529人	660人	↘													
3	市民一人当たりの図書貸出冊数	市立図書館における図書の年間総貸出冊数/人口	3.4冊	3.7冊	3.4冊	4.0冊	↘													
4	郡山市電子図書館の閲覧人数	郡山市電子図書館の閲覧人数	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	140,902件	50,000件	↗	(2024改訂にあたり新設)												
5	学習スペース利用者延べ人数	中央公民館や中央図書館の学習スペース利用者延べ人数	(2024改訂にあたり新設)	(2024改訂にあたり新設)	16,355人	9,000人	↗	(2024改訂にあたり新設)												
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■あさかの学園大学において、広報誌等に加えTV媒体での広報活動を行った結果、学生数は微増している。 (2023年度市内431人、広域圏98人) ⇒【課題】こおりやま広域圏への更なる広報活動に努める必要がある。また、カリキュラムにおいても、広域圏市町村にかかる内容も取り上げていく必要がある。 ■新型コロナウイルス感染症の新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、感染対策が個人の自主的な取組が基本となったことから利用者数も回復傾向にあり、併せて貸出冊数も増加傾向にある。また読書のバリアフリー化や図書館サービスのデジタル化を進めるため、令和元(2019)年から電子書籍を導入しており、当該サービスの更なる進展を図るため、令和5(2023)年7月以降、市内全小中学校の児童生徒へ専用IDを順次配布した。2022年度に対し、2023年度の利用者数は大幅に増加しており、GIGAスクールとの連携深化に寄与した。さらに、館内学習スペースの利活用を進めるため、目的別の学習室整備し、かつアプリで空き状況を随時配信することで、利用者数が増加している。 ⇒【課題】電子書籍の整備には、「ライセンスが有期限であるもの」「回数制限があるもの」があり、閲覧数(利用者数)が多ければ、配信する冊数が減少していくため、順次冊数を増やす必要がある。しかしながら、令和5(2023)年度まで活用していた新型コロナ臨時交付金が廃止され、これに替わる財源(補助金)がなく、以降は市独自で冊数を整備していかなければいけないが、紙媒体と比較し、現時点で電子書籍は高価であるため、冊数を大幅に増やすことはできない。学校図書領域においては学校司書研修、電子書籍の利活用以外での連携のあり方も検討すべきである。																				
【参考】生涯学習支援事業 <table><tr><th>主な成果指標</th><th>実績値(2019)</th><th>実績値(2023)</th><th>目標値(2025)</th><th>傾向</th><th>2019からの実績値変動</th></tr><tr><td>市政きらめき出前講座受講者数</td><td>15,417</td><td>10,492</td><td>12,000</td><td>↘</td><td></td></tr></table>									主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動	市政きらめき出前講座受講者数	15,417	10,492	12,000	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2023)	目標値(2025)	傾向	2019からの実績値変動															
市政きらめき出前講座受講者数	15,417	10,492	12,000	↘																